

2023 年 G7 貿易大臣会合大阪・堺推進協力協議会 総会 議事概要

- 日 時：令和 4 年 11 月 30 日（水）17:30～17:55
- 場 所：さかい利晶の杜 立礼茶席
- 出席者（名簿順）：
 - 会長（大阪府知事） 吉村 洋文
 - 会長代行（堺市長） 永藤 英機
 - 委員（関西経済連合会会長） 関 総一郎（代理）【オンライン参加】
 - 委員（大阪商工会議所会頭） 鳥井 信吾【オンライン参加】
 - 委員（関西経済同友会代表幹事） 金子 秀一（代理）
 - 委員（堺商工会議所会頭） 葛村 和正
 - 委員（大阪観光局理事長） 溝畑 宏

○会長開会あいさつ

（吉村会長）

本日、経済界の皆さん、そして大阪観光局にも入っていただき、G7 大阪・堺貿易大臣会合の協議会総会を開催いたします。

会議とおもてなし、歓迎会を堺でやろうということで、その会議の場所については、技術的な面も含めて、国と堺市と大阪府で、さらにもう一度詳細を詰めました。

結果、どうしても技術的な側面があり、会議そのものは、国際会議場で、おもてなし・歓迎会については、堺でやろうということを永藤市長とも相談して、判断いたしまして、その旨を国にも申し上げました。

先般、外務省と経産省におきまして、この会合を 2023 年 10 月 28、29 日に行う、正式名称も「G7 大阪・堺貿易大臣会合」と決定されました。

堺の魅力、南大阪の魅力、大阪の魅力、これを G7 大阪・堺貿易大臣会合において発信していきたいと思います。

また、2025 年には大阪・関西万博もあります。この貿易大臣会合を通じて、大阪・関西万博の魅力も世界に発信していきたいと思います。

G7 となると、海外のメディアも含めて多くの関係者がこの堺を訪れることになります。世界に対して、堺の文化やその精神性、そして、魅力を発信していきたいと思いますので、経済界の皆さんまた観光局、大阪府、堺市で協力して、これから具体的な準備に取り組んでいきたいと思いますので、よろしくお願いします。

「2025 年大阪・関西万博」も含めて大阪・堺のプレゼンスを、G7 貿易大臣会合を通じて、さらに高めていきたいと思いますので、よろしくお願いします。

○議題及び報告

- ・事務局より、規約第 21 条の規定に基づく規約の一部改正について、構成団体及び委員構成の変更、委員の追加、幹事の追加、副会長にかかる規定の追加を報告
- ・会長代行より、規約第 7 条第 2 項の規定に基づく副会長の推薦について、発議（関西経済連合会会長、大阪商工会議所会頭、関西経済同友会代表幹事 2 名、堺商工会議

所会頭を副会長とすることで承認)

- ・事務局より、規約第 10 条第 2 項に基づく大阪府警察本部長の顧問委嘱についての同意を求め、承認
- ・事務局より、今後の主な取組案及び事業スケジュール案について報告

○事務局報告に関する意見

(吉村会長)

これから、おもてなしや魅力発信事業について、事務局を通じて議論いただきますが、世界遺産に登録された「百舌鳥・古市古墳群」、「仁徳天皇陵古墳」は、本当に素晴らしいと思います。ここをぜひ、G7 の貿易大臣に見ていただきたいと思います。では、どうやって歴史を実際に体感してもらうのかということ考えたときに、まだ実現はしてないのですが、気球を上げるというチャレンジ、そうしたことを今、堺市において検討されていると聞いています。また、大阪府も協力しながら進めているところです。

今回の「取組事項（案）」にその記載はありませんが、可能性について、ぜひ検討してもらいたいと思います。自分が逆の立場になって考えると、世界会議に訪問した際には、そこでの素晴らしい歴史遺産に触れたいと思います。我々は航空写真で見えるわけですが、古墳は少し離れたところから直に体感するというのは、素晴らしいインスピレーションを持っていただくことになると思います。世界のメディアの皆さんにも知っていただくことになると思います。

安全管理とか時間の配分とか、実務的な問題がいろいろあると思いますが、今は事務局案にはありませんが、検討していただけたらと思います。皆様のご意見を伺えれば。

(葛村副会長)

ぜひとも。大阪府で初めて世界遺産になった「百舌鳥・古市古墳群」が、コロナ禍のため、なかなかアピールの場がなかった 3 年間でした。今回、こういう機会大きく世界に PR できるというのは本当に嬉しいですし、閣僚の方々が乗るのは、安全の面で難しいかもしれませんが、やはり実際見てもらって、体験をしていただいて、どれくらい大きいものか、どういうものが 1,600 年前にできたのか、認識いただければと思いますし、それもまた、おもてなしの一つになると思いますので、ぜひともよろしくお願いします。

(溝畑委員)

今のお話に加えますと、リアルだけではなくて、いわゆる「メタバース」を駆使して、バーチャルでも体験できる場所は、観光 DX として追求するべきじゃないか。2023 年までといっても、はっきり言ってあまり時間ありません。23 年 G7 貿易大臣会合までにやるべきこと、24～25 年にやるべきことを考えながら進めていく必要があります。

一つ目は、25 年の大阪・関西万博を見据えて「SDGs」という言葉を前面に打ち出す大臣会合になると思います。世界はサイクリングブームです。G7 の国は、通勤が今、サイクリングに移行しています。世界有数の自転車メーカーのシマノがあるここ堺を、サイクリングの聖地にする。知事が、万博をサイクリングで行くというプロジェクトを推進しておられますが、それにつなげていけるようなものにしていくというのが、世界にインパクトがあるのではないかと思います。

二つ目は、私は「若手料理人イベント RED U-35」の日本シェフのコンテストのアドバイザーをしていますが、若いシェフの大半が堺の包丁を使っています。ですから、できればこのコンテストを堺に誘致して、

堺の包丁を体験してもらおうと思います。

最後に「お茶」です。堺に来たら、いたるところでお茶の空間が広がっているようなことを、今から計画的に準備していかないと。駅から始まって、商店街等どこに行っても、お茶が出てくる。これを市民参加型で作っていく。お茶というのは「SDGs」につながっていくので、ぜひこれらのテーマを、私ども皆さんと一緒にやっていきたい。

メタバースや VR は結構お金もかかります。なかなか大変ですけど、気球を活用して上から見るのと両輪でいった方がいいのかなと。万博も「バーチャル万博」と言われているくらいですから。問題提起させていただきます。

〇会長代行閉会あいさつ

(永藤会長代行)

皆様、本日はご多忙のところお集まりいただきまして、本当にありがとうございます。

冒頭に知事からお話いただいたように、昨日名称が「G7 大阪・堺貿易大臣会合」に決定しました。そして、本日、この場で経済界の皆様をはじめとして大阪府警察を含め万全の準備ができる体制が整ったと感じています。

堺は中世の時代に、国際貿易都市として繁栄を極めた「黄金の日日」とも称された都市ですので、この大阪・堺の地で貿易大臣会合が開催できることは大変意義深いと思っています。

また、今日の会場である「利晶の杜」の隣には、茶の湯を大成した千利休の屋敷跡があります。この後、皆様にも楽しんでいただきたいと思いますが、茶の湯は「一期一会」や「和敬清寂」、また「わび・さび」といった現代の日本人の精神性や美意識にも関わる多くの重要な部分が含まれていると考えています。ぜひ、各国からこの堺に貿易大臣会合に来られた各国の閣僚、政府関係者の皆様、そしてメディア関係の皆様にも、堺を通して大阪や堺、関西、日本の魅力を存分に感じていただきたいと思います。

先ほど、知事の気球のお話を含めて様々なご提案をいただきました。この大阪・堺にとって絶好の機会でもありますので、存分に魅力発信したいと考えていますし、そのことが関西の活性化、そして 2025 年大阪・関西万博に向けて勢いをつくように取り組みたいと考えています。

皆様と協力しながら力を尽くしますのでどうぞよろしくお願いいたします。本日は本当にありがとうございました。